

西部地域支え合い 協議会だより



令和3年7月1日発行
発行 西部地域支え合い協議会
発行責任者 小川 光昭
鶴ヶ島市西市民センター1階
☎・fax 049-214-4005

新年度に向けて

会長 小川 光昭

日に日に街の緑も色濃く、頬に吹く風も優しく心地よい時季となりました。本年の総会につきましても、感染症拡大の状況にもあり昨年引き続き委任状での議案審議となりました。結果、各議案成立となりました。

令和三年度の活動内容は、従前通りの計画ですが、コロナウイルスも生き残りのためか変異しながら感染力を強めているようです。ワクチン接種の早期実施に努力しながら、

感染防止対策をゆるめることなく維持することをお願い致します。今後の感染拡大沈静化の動向によって年度内に可能な限り実施してまいります。皆さんとの再開を楽しみに…。

◎ 福祉委員会活動

- * 高齢者の居場所づくり、高齢者の集い等。
- * 西部助け合い隊、お困り事相談・支援等。
- * 放課後子ども教室、学習サロンツムツム。
- * 高齢者の健康維持教室等。
- ◎ 防災防犯委員会活動
- * 地域内自治会防災会避難所運営支援。
- * 会員のスキルアップ研修含む活動。
- * 青少年健全育成協議会防犯活動支援。
- ◎ 組織・広報委員会活動
- * 協議会だよりの発行等の広報活動。
- * 地域向け講演会・講習会の開催活動。
- * 活動拠点(事務所)の維持管理活動。



子ども部会活動のご紹介と参加のお誘い

部会長 長島 安一



支え合い協議会は、地域が抱える課題を地域で解決する共助社会を目指しています。日常の暮らしの中で人と人が支え合い助け合う関係づくりと、地域の課題は地域で解決できる仕組みづくりは意義のあることだと思っております。

子ども部会では、子ども達への支援を中心に、地域の大人と子どもの顔の見える関係作りの取組みをしています。地域の方々の参画を得て、子ども達に体験・交流・学習活動等の機会を提供すること。併せて、地域の子どもと大人の交流による地域コミュニティの充実を目指すことです。具体的には、放課後に子ども達への学習の場を提供して見守る学習サロン「ツムツム」や、子ども参加行事の企画・協力、絵画教室や工作教室の開催等々です。

ボランティア同士や子ども達との関わりはとても楽しく、参加者にとっても相互に活力を得られる時間になると思います。人生二毛作の時代とも言われますが、仕事ではない自由な関係を広げたり、共に生活していく地域社会の中で、お互いのふれあいや喜びを感じることもつながると思います。参加する子どもと大人の双方に有意義な活動になると思われます。

地域の皆様の、支え合い協議会・子ども部会への参加を是非ともお願い致します。活動には特別な知識や技能等の条件はありません、都合のつく時間と回数で結構です。子ども達との関わりについて、少しでも心にさざ波を感じた方からのご連絡をお待ち申し上げます。



ツムツム科学工作教室の様子



夏休み施設見学時の集合写真

第5回総会を終えて

事務局長 大場 一石

会員および関係者の皆様にはすでに通知されているとおり、4月18日、第5回総会は、昨年に続き委任状形式での実施となりました。結果、会員総数112名に対し有効委任状数86通を得ることができ、3議案の成立を得て終了いたしました。令和2年度のご支援、ご協力等、役員一同心より感謝いたします。ありがとうございます。

寄せられた意見書は、質問に相当するものが1種2件、および激励のお言葉を数通いただきました。この場を借りて、回答いたしたいと思っております。

① 案内状と意見書の用紙は、総会資料と同封されていたが、委任状が入っていなかった。(自治会長等)

(答え) 委任状は、一般の会員のみと同封されています。ご案内させていただきました皆様のうち、非会員の方には、ご意見等をお伺いするだけで総会議案の投票はできません。ご心配をかけて申し訳ございませんでした。

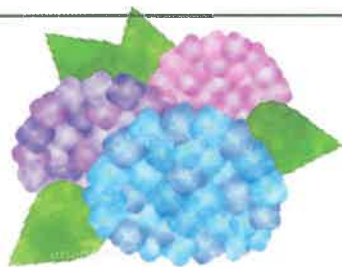
また、自治会長等の皆様には、3月現在の役職名で通知させていただいております。総会が、通常年度明けに行われることから、総会時点で、すでに交代されている方々に通知が届いてしまう場合がございます。このような場合、大変ご面倒だと思いますが、後任の方に手わたしていただけると幸いかと存じます。

② 総会の案内状が複数届いた。

(答え) 同様に、同一の方に、会員用と役職名のものが複数届いてしまう場合がございます。できるだけ、このようなことが起こらないよう気をつけておりますが、役職名が、個人名でない場合もあり、名簿では確認できなかったものもありました。今後名簿の管理をより正確にしていきたいと思っております。

また、助け合い隊にお願いする場合、あるいは行事などに参加する場合、会員でないとだめなのでしょうかという声をお聞きしましたが、西部地域支え合い協議会では、そのようなことはないのです。どなたでも気軽に、自由にお声がけください。お待ちしております。

来年こそ、皆様のお声を直接お聞きできる総会が開けるよう、できる限り健康で過ごしたいと思っております。今後とも、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



西部地域支え合い協議会には5人のコーディネーターがいます。

コーディネーターの紹介

福祉委員会副委員長兼コーディネーター 森田 静江

現在5名のコーディネーターが、月、水、金曜日に10時から12時まで、皆様からの依頼を受け付けています。依頼の内容を聞き現場に行き、現状を把握、確認します。時間はどの位かかるか、何人でできるか、その後実際に作業に当たれる助け合い隊の方を探し、打ち合わせをして作業になります。そのため受付から作業開始まで1週間ほどみていただきたいと思います。

昨年度は、コロナウイルス感染症予防のため、部屋、トイレ、風呂等の掃除、家具の組み立て、移動等は自粛いたしました。草とり、剪定、屋外の電球の交換等は、密を避けてお受けいたしました。

また、7月から9月は熱中症予防のため、草とり、剪定等は中止いたしました。誠に申し訳ありませんでした。今年度も活動の自粛は継続中ですが、(屋外の作業は検討します)密を避けてできる限りお手伝いさせていただきます。当面、作業中はマスク着用で、また、皆様も会話時はマスク着用をお願いします。

これからも、地域の皆様のお困りごとなどお役に立てるようにコーディネーター、一同頑張ります。

協力していただける会員を募集しています。事務所までお問い合わせをお願いします。

ありがとう券取扱店紹介

前回の取扱店紹介いかがでしたか？ぜひ一度立ち寄ってみてください。

今回は、越生線を挟んで北側で一本松駅近くの飲食店を2店紹介させていただきます。「暖暖亭」さんは、中新田で30年以上営業されており、地域の皆さんに愛され根付いているお店です。

「Café 小春びより」さんは、女性一人で営業されているお店です。ご近所の一人暮らしの方や、また、お友達同士でランチを楽しみに来ている人が多いようです。

手打ちそば、うどん暖暖亭

中新田 53-18 ☎ 049-287-0088

34年前に川越から引っ越してまいりました。同時にお店を開店いたしました。

当店は、手打ちそば、うどんがメインですが、しょうが焼きハンバーグ等、また、そば、うどんのご飯セット等多数用意しています。地域の方々、会社員、学生さんご利用いただいております。コロナ禍の影響もありますが「このお店なら安心」と来店していただくお客様もおりまして感謝の限りです。

早くマスクのない穏やかな生活が戻りますようお願いしております。

西部地区ボランティアの皆様もお体に気をつけてお過ごしくださいませ。



「暖暖亭」さんです。



「Café 小春びより」さんです。

Café 小春びより

下新田 9-5 ☎ 090-3964-1288

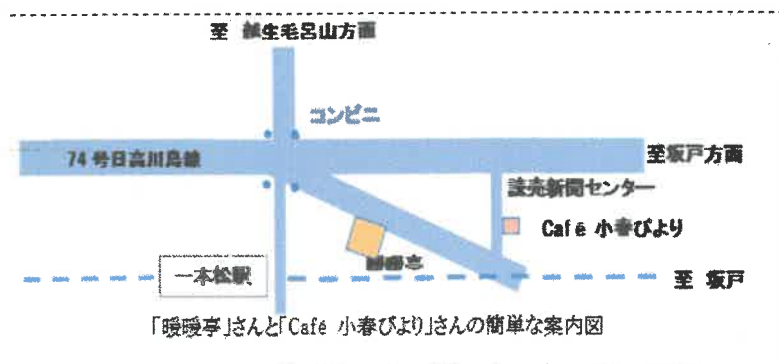
小春びよりを開店したのは、6年前です。地域の皆様が気軽に来られるサロンのようなお店に出来たら良いな！と始めました。

住宅街の中にある隠れ家的な店ですが、一度入ってしまうと皆さんお仲間です。

お一人様で見える方が多いので、すぐにお友達になれますよ。

料理は家庭料理ですが、毎日違うメニューを出すように心がけています。「ありがとう券」も気軽に使ってほしいと思います。今は、コロナの自粛の中、なかなか外出しづらいと思いますが、経営している私もオールド・レディなので、お見えになる方も年代層は低くはありません。皆さんから元気パワーをもらっています。

ぜひ一度、おいでくださいませ。(営業は、火・水・木・金曜日の11:00~16:00です。)



西部地域歴史散策 -鉄砲道-

協議会の会員の方から、鶴ヶ島で生まれ育った人も、こちらに越してきた方も、もっと郷土に愛着をもって、この土地に根ざした人生を過ごせないだろうかとの話を聞きました。今回から、そのような気持ちに少しでもお役に立てればと思います、この地域の、伝統文化、歴史など紹介していきたいと思ひます。

最初の回は、上新田から東側に、中新田、新町、下新田を一直線に貫いて県道川越・越生線に通じる鉄砲道(てっぽうみち)を紹介しします。

ご承知の方も多いと思ひますが、「未来を拓く つるがしま郷土かるた」という鶴ヶ島の自然や文化遺産などを題材にした学習教材があります。その「と」の題が鉄砲道です。この「つるがしま郷土かるた」は、平成 17 年、当時の小・中学生から作品を募集して、応募のあった、読み札 2193 首、絵札 795 枚の中から優秀な作品をそれぞれ 46 枚選んだものです。

鉄砲道という名前から、かつて鉄砲を鎌倉や江戸の幕府に運んだ街道なのかと思ひましたが歴史の本によると、江戸時代に夜間、提灯で竹槍を立てて見通し測量をしてまっすぐに作った道だと語り継がれています。総延長線数百メートルあるそうで、当時の鉄砲を撃っても弾がまっすぐに飛んで行けたということから名付けられたと言われています。

鉄砲道は大正時代から町道 9 号線として重要な幹線道路だったそうで、昭和初期までは、道の南側に水路があり、入梅の季節や大雨の時は水が溢れたとのこと。現在もこの地域の東西を結ぶ重要な道路として活躍しています。



*「未来を拓く つるがしま郷土かるた」は、生涯学習スポーツ課(市役所 5 階)で販売しています。
(1 セット 1000 円)



図の緑の線が鉄砲道です。緑の矢印は西市民センターの位置です。

*「協議会だより」編集係では、皆様から地域の歴史や、文化、めずらしいお祭りや習慣、伝統的な食べ物などの情報を募集しています。協議会事務所までぜひご一報下さい。

会員募集中です！

私たちは、皆さんから「ありがとう」の言葉と笑顔をいただくことが一番の幸せです。あなたも福祉、防災・防犯、広報などの活動を通じて、みんなで支え合う地域作りのお手伝いをしてみませんか。

コンピューターができない、仕事があって恒常的に参加できないなどの不安は問題ありません。自分ができることを、できる範囲で行うのがボランティアです。ぜひ一度、西市民センター 1 階の西部地域支え合い協議会事務所にお問い合わせ、また、気軽にお立ち寄り下さい。お待ちしております。

☎・fax 049-214-4005